

図4C. 地質断面C (佐渡～新津). 説明は図2A参照.

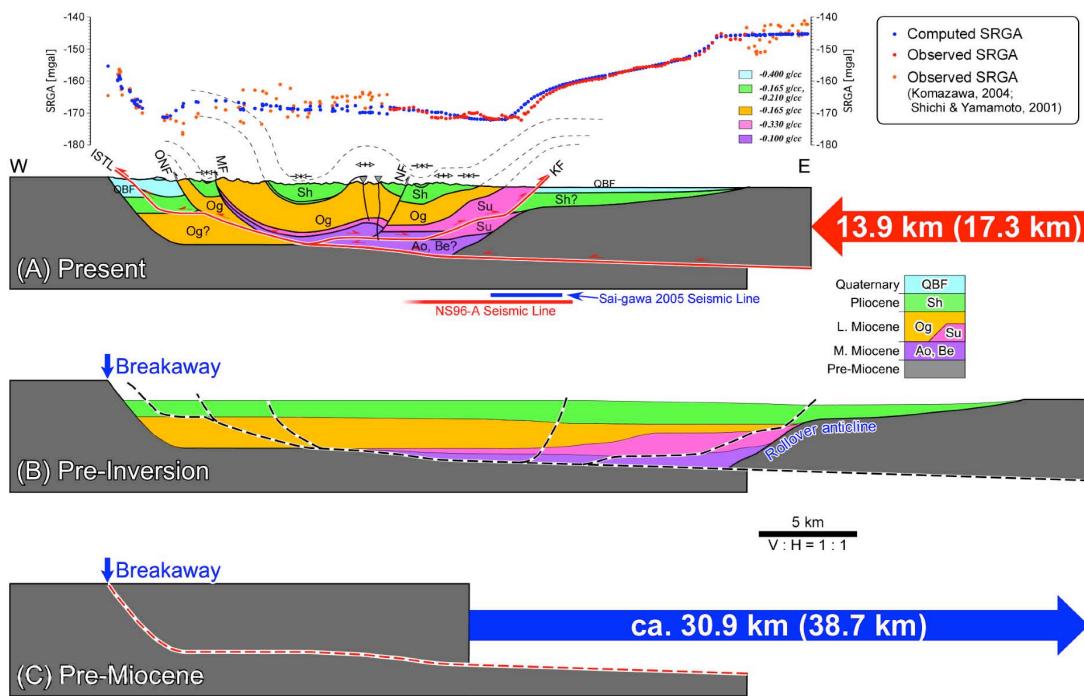


図4D. 地質断面D (糸魚川静岡線～長野盆地). 説明は図2A参照.

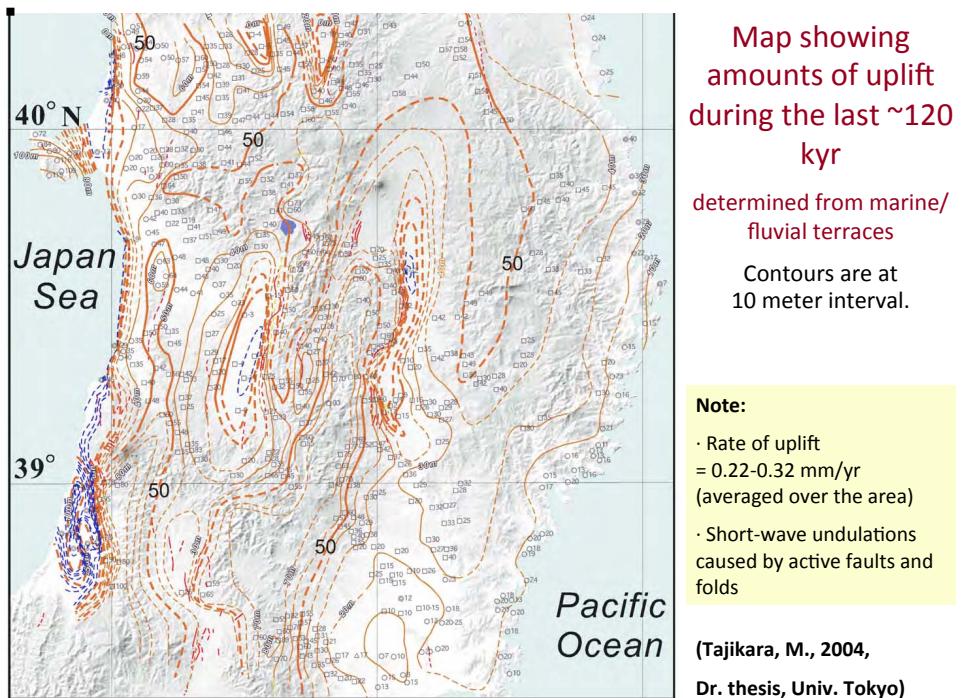


図5. 東北日本における過去約12万年間の垂直変位量. 沿岸部の隆起量は最終間氷期の海成段丘高度から求める. 内陸部の隆起量は、最終氷期および一つ前の氷期の河成段丘の比高から推定する. Tajikara (2004)による.

Estimation of crustal strain from regional uplift data

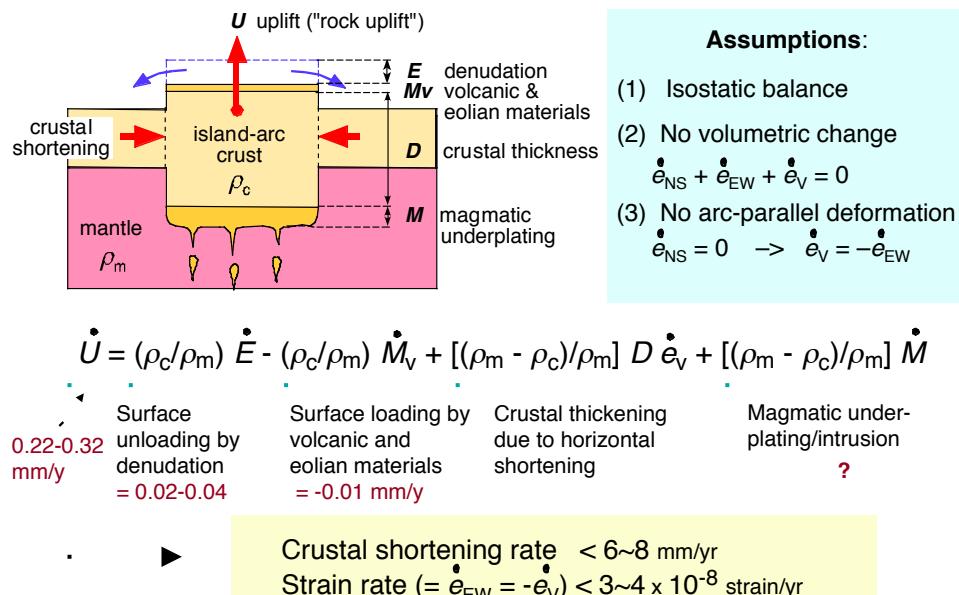


図6. 隆起速度データに基づく東北日本の水平短縮速度の推定. Tajikara (2004)による.

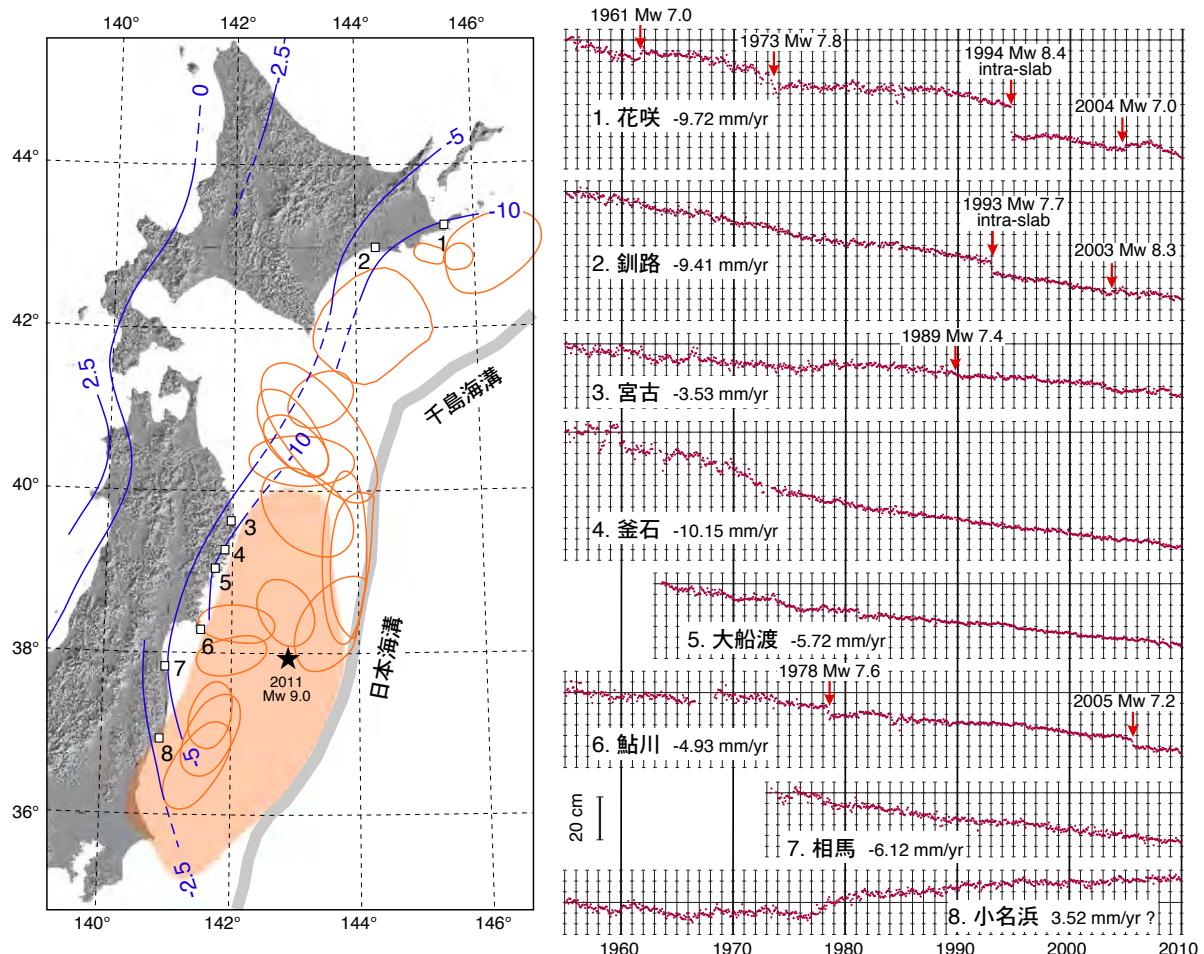


図 7. (左図). 東北日本弧における最近の垂直変動とプレート境界地震の震源域. 青色の等値線は、1955–1981 年の期間における験潮観測から求めた隆起速度 (単位 : mm/yr) (Kato, 1983 による). 橙色線で囲んだ領域は、1896 年以降に起こった Mw 7.0 以上の地震の震源域. 橙色で塗色した領域は 2011 年東北地方太平洋沖地震の震源域. (右図) 太平洋岸における過去 55 年間の上下変動 (国土地理院, 2010 による). 各験潮所の位置は左図参照. 赤矢印は各験潮所の近くで起こった Mw 7.0 以上のプレート境界地震 (1993 年根室沖地震と 1994 年釧路沖地震を除く).